

Ⅰ 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の生活実態や生活環境に関する意識、および市政に対する要望など、市民生活全般にわたり市民の意識を聴取し、今後の行政施策の基礎資料とすることを目的とした。

2. 調査の設計

調査地域 入間市全域
調査対象 市内在住の満 20 歳以上の男女個人
標本数 2,000 人
抽出方法 住民基本台帳による等間隔無作為抽出法
調査方法 郵送によるアンケート調査
調査期間 平成 20 年 9 月 16 日 ~ 9 月 30 日

3. 回収状況

配布数 2,000 件
回収数 1,234 件
回収率 61.7%

年齢別の基数と回収率（人口は 20 歳以上）

年齢	人口比率		基数比率		回収率	
	人口	比率	基数	比率	発送数	回収率
合計	120,078	100.0%	1,234	100.0%	2000	61.7%
20 歳台	17,547	14.6%	119	9.6%	313	38.0%
30 歳台	22,247	18.5%	222	18.0%	409	54.3%
40 歳台	18,923	15.8%	183	14.8%	327	56.0%
50 歳台	22,545	18.8%	273	22.1%	395	69.1%
60 歳台	21,346	17.8%	274	22.2%	374	73.3%
70 歳以上	17,470	14.5%	140	11.3%	182	76.9%
(無回答)			23	1.9%		

地区別の基数と回収率（人口は 20 歳以上）

地区	人口比率		基数比率		回収率	
	人口	比率	基数	比率	発送数	回収率
合計	120,078	100.0%	1,234	100.0%	2000	61.7%
豊岡	44,544	37.1%	389	31.5%	749	51.9%
東金子	14,206	11.8%	133	10.8%	236	56.4%
金子	8,406	7.0%	93	7.5%	139	66.9%
宮寺・二本木	8,817	7.3%	99	8.0%	146	67.8%
藤沢	26,791	22.3%	289	23.4%	452	63.9%
西武	17,314	14.4%	186	15.1%	278	66.9%
(無回答)			45	3.6%		

4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体(入間市に住む満 20 歳以上の男女)の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の<算出式>と<早見表>を次に示す。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数(サンプル数)および回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は±2.85%以内となる。

< 標本誤差算出式 >

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

N = 母集団数 (入間市に住む満 20 歳以上の男女)
n = 比率算出の基数 (回答サンプル数)
p = 回答の比率 (0 ≤ p ≤ 1)

< 誤差早見表 >

回答比率(p) 標本数(n)	5%または 95%程度	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
100	±4.36%	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
200	±3.08%	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
500	±1.95%	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
1,000	±1.38%	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
1,234	±1.24%	±1.71%	±2.28%	±2.61%	±2.79%	±2.85%
5,000	±0.62%	±0.85%	±1.13%	±1.30%	±1.39%	±1.41%
10,000	±0.44%	±0.60%	±0.80%	±0.92%	±0.98%	±1.00%

上表は $\frac{N - n}{N - 1}$ 1 として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95% である。

5. 調査項目

- (1) 基本的な属性
性別・年齢・家族構成・居住年数・前居住地・職業・
職場の所在地・住居形態・居住地区
- (2) 暮らしやイメージ、地域活動
- (3) 生活環境
- (4) ボランティア活動
- (5) 防災関連について
- (6) 情報化について
- (7) 「広報いるま」や市政情報について
- (8) 施設利用について
- (9) 健康・スポーツ、芸術文化活動について
- (10) 行財政改革について
- (11) 人権問題
- (12) 意見・要望

6. 報告書の見方

- (1) 図表中の N とは、回答者総数のことである。
- (2) 割合は N を 100.0%として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため合計が 100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答が 2 つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は 100.0%を超える場合がある。
- (4) 統計学上 50 サンプル以下の集計(回答者数)は信憑性が低い。そのため、クロス集計については、50 サンプル以上を記述(コメント)の対象とした。
- (5) 属性別(クロス集計)の記述では、原則として全体の集計結果と比較し、特徴または傾向が見られるものをコメントの対象とした。

II 基本的な属性

(1) 性別

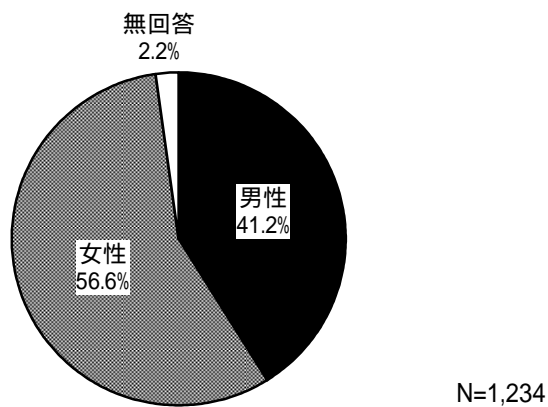


図 1 性別

(2) 年齢

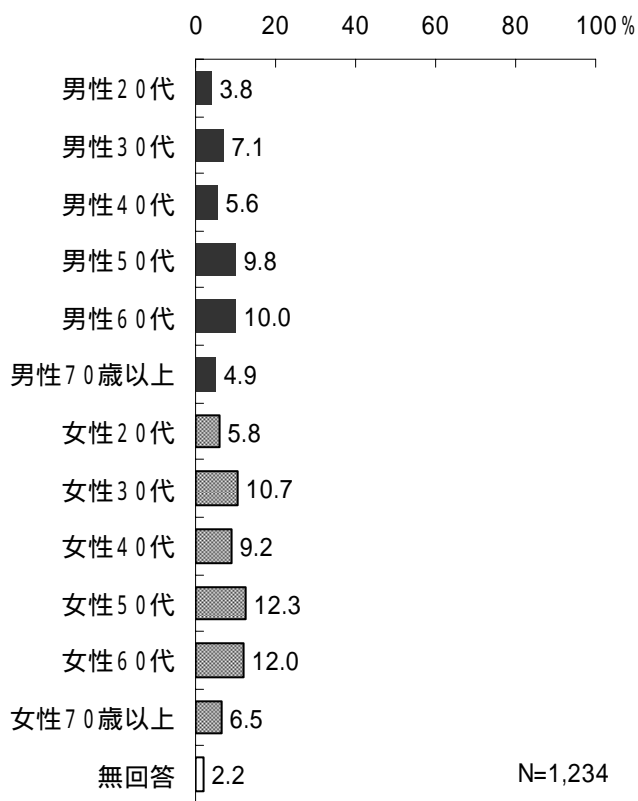


図 2 年齢

(3) 居住地区

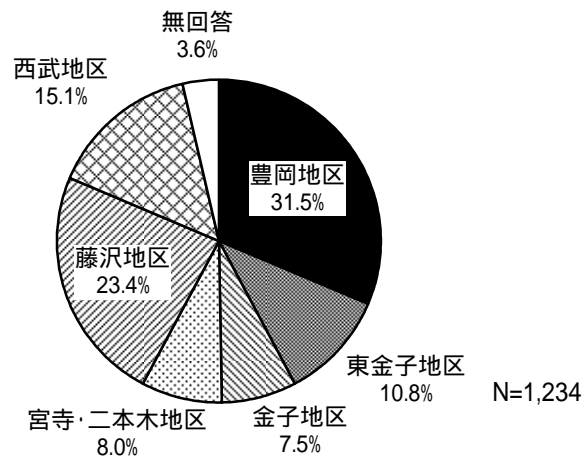


図 3 居住地区

(4) 家族構成

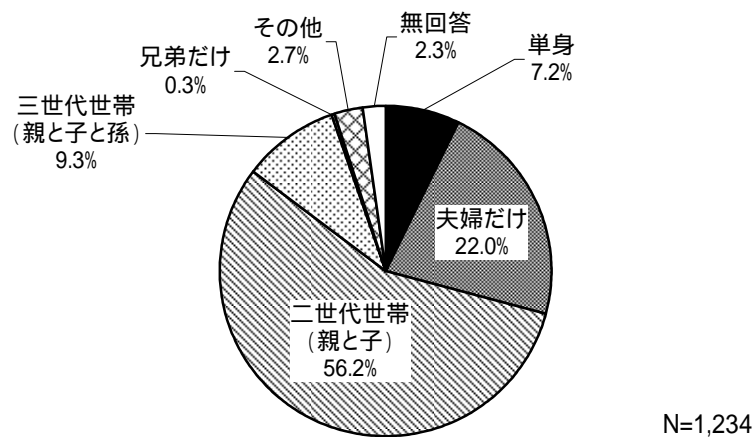


図 4 家族構成

(5) 住居形態

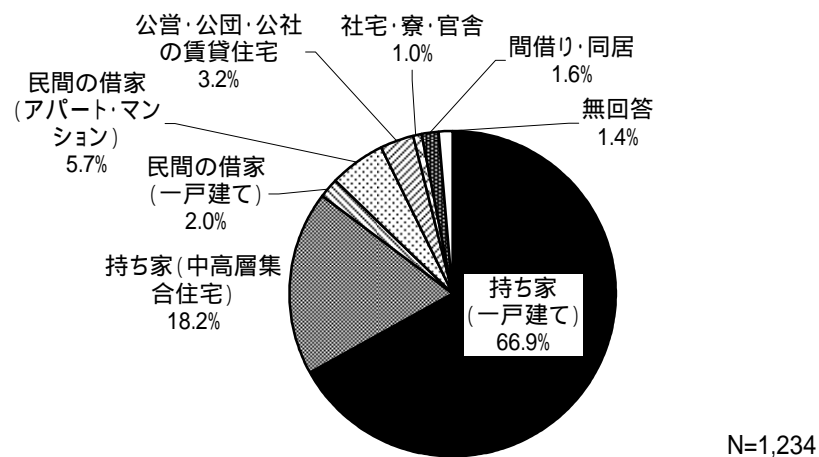


図 5 住居形態

(6) 居住年数

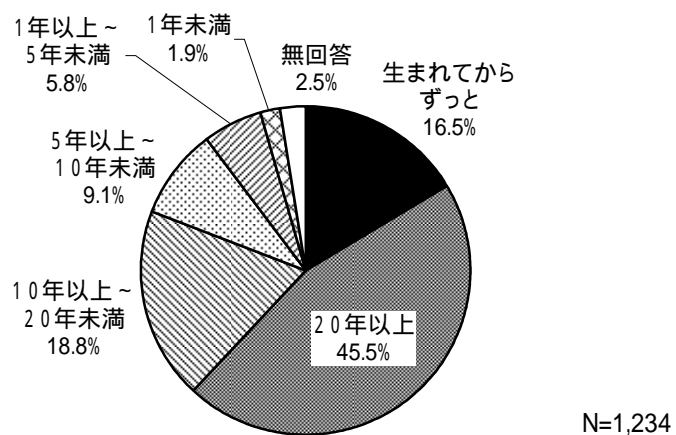


図 6 居住年数

(7) 前居住地

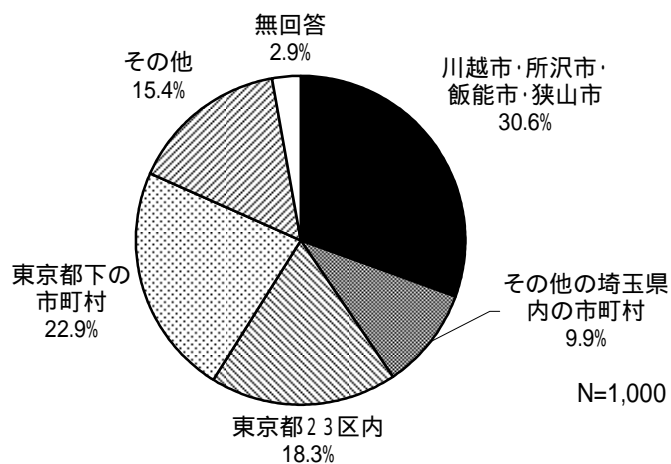


図 7 前居住地

(8) 職業

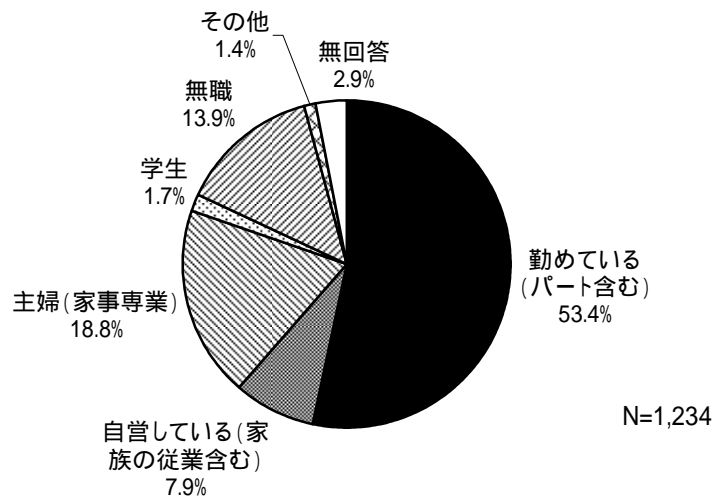


図 8 職業

(9) 職場の所在地

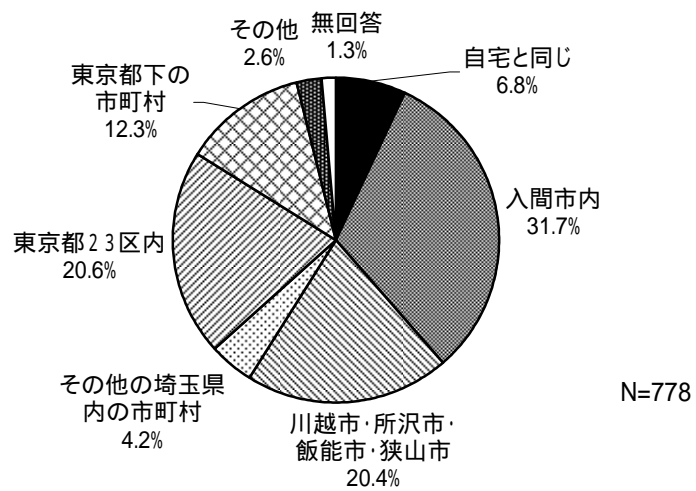


図 9 職場の所在地